

2006 年度

科目名 社会福祉援助技術演習 I	対象学科・学年 文学部教福 2 回生 教育教福 2 回生	担当者 農野 寛治
授業テーマ 直接援助技術（ケースワーク、グループワーク）を展開するために必要な技術を習得する。		
授業の概要と目標 社会福祉援助を行うときの基盤となる面接技術や、生活問題のアセスメントのための技法など、基礎的な援助技術の体得と援助過程の理解を深めることを目的に演習形態の授業を行う。ワークショップ形式を用いながらすすめるので、受講者の積極的な参加が前提。		
評価方法 授業中の演習への取り組み、定期筆記試験等で評価します。		
テキスト 「社会福祉用語辞典第 4 版」	著者 山縣文治 柏女霊峰 編	出版社 ミネルヴァ書房
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1) オリエンテーション…対人援助における専門性とは何か 2) 自己覚知（1）他者を通じて自己を知る 3) 自己覚知（2）自己の中の価値観 4) ケースワーク援助の原則 5) コミュニケーションについて考える 6) 面接とは何か…クライアントの思いに入る・ヒストリーからの理解 7) 面接のプロセス（1）基本的態度と姿勢、傾聴… 8) 面接のプロセス（2）効果的な質問、内容と感情の反射… 9) 面接のプロセス（3）要約、解釈… 1 0) 生活場面における面接 1 1) 記録の意義と方法 1 2) 事例検討…エコロジカル・アプローチ 1 3) ケースカンファレンスの方法 1 4) グループワークの実際（1）原則と展開現場 1 5) グループワークの実際（2）展開過程		